

日本学士院第66回公開講演会について

日本学士院第66回公開講演会を日本学士院と徳島大学で平成29年5月20日（土曜日）に共催します。

**（報道概要）**

日本学士院では、広く一般の方々を対象に同院の活動を理解してもらうことを目的として、会員の先生方を講師に毎年春・秋2回公開講演会を実施しています。

今春は下記のとおり徳島大学と共催いたします。

**記**

- イベント名：日本学士院第66回公開講演会
- 日時：平成29年5月20日（土曜日）  
13時00分～16時10分（開場12時30分）
- 場所：徳島大学長井記念ホール  
（蔵本キャンパス：徳島市庄町1丁目78番地の1）
- 講演1
  - 演題：免疫力でがんを治す
  - 講師：本庶 佑（日本学士院会員）  
（京都大学高等研究院特別教授）
  - 司会：大村 智（日本学士院会員）  
※2015年ノーベル生理学・医学賞受賞
- 講演2
  - 演題：知識創造によるソーシャル・イノベーションの実践
  - 講師：野中 郁次郎（日本学士院会員）  
（一橋大学大学院国際企業戦略研究科特任教授）  
（一橋大学名誉教授）
  - 司会：岩井 克人（日本学士院会員）
- 主催：日本学士院  
共催：徳島大学  
後援：徳島新聞社
- 対象：どなたでも参加いただけますが、事前申込みが必要です。  
（定員280名）
- 徳島大学公式ホームページでもご案内しています。  
<http://www.tokushima-u.ac.jp/docs/2017041300042/>

お問い合わせ先

部局名 徳島大学総務部総務課

担当者 総務課長 高原 哲也

電話番号 088-656-7005

メールアドレス [soumukachou@tokushima-u.ac.jp](mailto:soumukachou@tokushima-u.ac.jp)

# 日本学士院

# 第六十六回公開講演会

## 【講演一】

## 免疫力でがんを治す

講師 <sup>ほんじよ</sup> **本庶** <sup>たすく</sup> **佑**

◆司会 大村 智会員



日本学士院会員  
京都大学高等研究院特別教授

## 【講演二】

## 知識創造によるソーシャル・イノベーションの実践

講師 <sup>のなかいくじろう</sup> **野中郁次郎**

◆司会 岩井 克人会員



日本学士院会員  
一橋大学大学院国際企業戦略研究科特任教授  
一橋大学名誉教授

開催日 平成 29 年 5 月 20 日 (土)  
時間 開場 12 時 30 分 開演 13 時 16 時 10 分終了  
(講演は質疑を含めそれぞれ 80 分程度を予定しています)  
会場 徳島大学長井記念ホール  
〒770-8505 徳島市庄町 1 丁目 7 8 番地の 1  
共催 徳島大学  
後援 徳島新聞社

入場無料

事前申込制・先着順 ※申込方法は裏面をご覧ください

問合せ先

日本学士院公開講演会係 〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-32  
TEL: 03-3822-2101 FAX: 03-3822-2105 WEB: <http://www.japan-acad.go.jp/>

# 日本学士院 第66回 公開講演会

共催：徳島大学  
後援：徳島新聞社

日本学士院では、広く一般の方々を対象に、本院の活動を理解してもらうことを目的として、会員を講師に毎年春・秋2回講演会を実施しています。春季は全国各地、秋季は上野の本院会館で開催し、専門分野の異なる講師により研究成果を社会に分かりやすく発信しています。今回は徳島大学の協力を得て、初めて徳島で開催することになりました。

日本学士院には各分野で高い業績を挙げた研究者が多数所属しています。本院会員のお話を聞いていただけるこの機会に、たくさんの方からのお申込みを心よりお待ちしております。

## 講演1 免疫力でがんを治す

Cancer Immunotherapy by PD-1 Blockade

ほんじよ たすく  
本庶 佑

PD-1は、1992年に京大医学部の石田らによる偶然に発見された分子である。その後の1998年までの遺伝子欠失マウスを使った研究で免疫応答にブレーキをかける受容体であることが証明された。2000年には京大とGenetic Instituteとの共同研究でPD-1のリガンドも発見された。2002年岩井らはマウスモデルでPD-1とリガンドの会合を阻害し、免疫活性を増強することによって抗がん能力が著しく高まることを発見した。この知見をもとにヒト型PD-1抗体を作り、がん研究に応用することを提案し、2006年ヒト型PD-1抗体の作製が行われた。その後試験が進みPD-1抗体はメラノーマの治療薬として2014年6月にPMDAによって承認された。現在、世界中では200件近くのPD-1抗体による各種がん腫治療への試験が進行中であり、有効性が確認されつつある。今後は日本の企業が次のアカデミア由来のシーズ誕生にどのように貢献するか注目される。

司会 大村 智 会員

### 【講師プロフィール】

京都大学医学部卒業。大阪大学教授、京都大学教授等を歴任。リンパ球が抗体遺伝子にクラススイッチ組換えと体細胞突然変異という遺伝子改変を導入し、ウイルスや細菌などの病原体の認識と排除に最も適した抗体を作る仕組みを解明。とりわけこれらの遺伝子改変の際に、DNAに切断を入れる酵素、活性化誘導シチジンデアミナーゼ(AID)を発見し、そのメカニズムを明らかにしたことは国際的にも評価されている。



## 講演2 知識創造によるソーシャル・イノベーションの実践

Practicing Knowledge Creation as Social Innovation

のなかいくじろう  
野中郁次郎

現代社会は、ローカルとグローバルな関係が、複雑に入り組み大きな流れをつくり、絶えず動いている。このような背景のなか表面化する社会的課題を解決するために、社会の仕組みを変える新たな知識と価値をつくるソーシャル・イノベーションの動きが活発化している。知識創造理論の観点から見れば、ソーシャル・イノベーションとは、地域の組織や人々が新たな関係性をつくり、その地域特有の歴史や伝統、文化などの暗黙知や有形無形の資産を新たな形や手法で活用して、新しい知識と社会的価値を創造し、社会を変革する活動である。本講演では、「知」から社会的価値を創出したコミュニティ・企業・NPOの実践事例をもとに、知識経営の観点から地域社会の活性化を考える。

司会 岩井克人 会員

### 【講師プロフィール】

早稲田大学政治経済学部卒業。一橋大学教授、北陸先端科学技術大学院大学教授等を歴任。日本企業と米国企業の実践的な比較研究によって、日本企業の経営の強みが組織的な知識創造にあるという洞察のもとに、組織的知識創造理論を新たに提示し、日本のみならず世界における経営学の発展に多大な貢献をした。この理論は欧米の経営学者や実務家にも広く受け入れられている。



申込方法（定員 280 名・先着順） ※事前にお申込みが必要です。

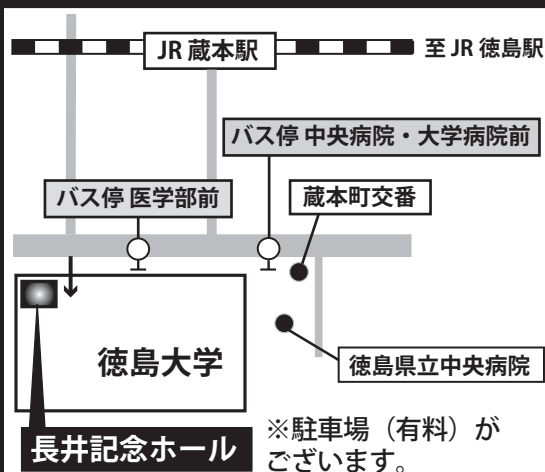
e-mail、ファックスまたは往復はがきのいずれかの方法で、住所、氏名（ふりがな）、電話番号、ファックス、メールアドレス等の連絡先を記載して、下記の申込先にお送りください。お席に限りがございますので、お申込みはお早めをお願いいたします。  
◎本院ウェブサイト <http://www.japan-acad.go.jp/> からもお申込みできます。

### 申込・問合せ先

日本学士院 公開講演会係 〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-32  
TEL: 03-3822-2101 FAX: 03-3822-2105 e-mail: kouenkai@japan-acad.go.jp

### 交通・会場ご案内

電車：JR 蔵本駅下車、徒歩約 5 分  
バス：JR 徳島駅から徳島市営バス又は徳島バスで「医学部前」又は「蔵本中央病院・大学病院前」下車、徒歩約 2 分



〔徳島大学蔵本キャンパス〕  
<http://www.tokushima-u.ac.jp/access/kuramoto/>